

東海創薬・医療機器開発フォーラム

東海国立大学機構One Medicine創薬シーズ開発・育成研究教育拠点（Center for One Medicine Innovative Translational Research; COMIT）は、「One Medicine（ヒトと動物の疾病は共通）」の視座のもと、創薬・医療機器開発分野で活躍する医学・獣医学・薬学・工学など多様なバックグラウンドをもつ研究者が有機的に連携し、創薬・医療機器開発分野での研究開発に取り組んでいます。東海創薬・医療機器開発フォーラムは、本拠点における研究開発の推進と企業等との連携強化を目的に、定期的に開催しております。つきましては、右記URLより現地参加 or オンライン参加をご登録の上、ふるってご参加いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。なお、URLは開催当日までにお送りさせていただきます。

日時

2024年5月16日（木）
18:00 - 21:00

場所

岐阜薬科大学 8階演習室
（岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科内）
〒501-1196 岐阜県岐阜市大学西1丁目25-4

対象

東海国立大学機構ならびに岐阜薬科大学の教職員・学生

参加登録



https://zoom.us/webinar/register/WN_mtBy17T8Sma8jMUAdpr8Rw
5月15日（水）13時までに登録ください

オープニング

18:00
|
18:05

秋山 治彦 教授
COMIT 拠点長／革新的モダリティ創出部門
大学院医学系研究科

一般演題①

18:05
|
18:35

「組織常在型記憶T細胞を標的としたアトピー性皮膚炎の再燃予防戦略の創出」

朝比奈 良太 特任准教授
COMIT 革新的モダリティ創出部門

特別講演

18:35
|
19:35

「医薬品等の研究開発とそのエコシステム
～特にアカデミアとの連携・協働について～」

角崎 英志 先生
株式会社新日本科学 専務取締役 非前臨床カンパニープレジデント

クロージング

19:35
|
19:40

前田 貞俊 教授
COMIT 拠点長補佐／動物医科学研究開発部門
応用生物科学部共同獣医学科

19:40
|
21:00

ネットワーキング（リアル会場のみ）

特別 講演

医薬品等の研究開発とそのエコシステム ～特にアカデミアとの連携・協働について～

講師

角崎 英志

株式会社新日本科学 専務取締役 非臨床カンパニープレジデント

抄録

医薬品、医療機器、再生医療等製品（以下、医薬品等）の研究開発は、他業種のそれと比較して、複雑で時間を費消するプロセスであり、最終的には規制当局の認可が必要な上に、成功確率も低い。これらは、開発者とそのステークホルダーにとって年々不利な方向に働いている傾向にある。

医薬品等の初期シーズは、旧来の製薬メーカーだけでなく、バイオベンチャー、さらにはアカデミアから創出されるケースが世界的に増加している。その後、シーズは研究開発の過程で共同開発やライセンスなどを経て、開発ステージが上がっていく場合が多く、アメリカを中心とする海外では、この傾向が強い。この過程は、医薬品製造開発受託（Contract Development and Manufacturing Organization, CDMO）、非臨床系研究開発受託（Contract Research Organization, CRO）および臨床系CROが医薬品研究開発を積極的にサポートしている。すなわち、現代は単独の会社が医薬品の研究開発を完結しているわけではなく、いわゆるエコシステムを通じて進められている。

当社は、主力事業として非臨床系 CRO事業を行っており、国内ではトップシェアを誇っている。同時に欧米や東アジアの製薬メーカーやバイオベンチャーにもサービスを提供している。先の新型コロナウイルスによるパンデミックが発生した際には、製薬メーカー等とともに、そのワクチン及び治療薬開発の迅速な承認に寄与した。すなわち、当社では、創薬シーズを臨床試験に投入する前臨床開発のプロセスを旧来のほぼ半分の期間にするという離れ業を経験した。ゴールを実現するために最短ルートを辿るにはどうすべきか、という命題を実践するには、既存のプロセスあるいは旧来の考え方を超えた未知なる挑戦が必要であり、エコシステムを如何に有効活用するかが問われた一例であると言える。

本講演では、医薬品等の研究開発とそれを取り巻く環境について、現状を整理した上で、特にアカデミアの果たす役割、民間企業等との連携・協働について論じてみたい。

経歴

現在のポジション：
株式会社新日本科学 専務取締役 非臨床カンパニープレジデント

学歴：
獣医師（1991年大阪府立大学農学部獣医学科卒（薬理・毒性学））
医学博士（2007年大阪市立大学医学研究科終了（薬理学））

職歴：
株式会社新日本科学（東証プライム上場、日本最大の非臨床研究受託企業）
1996年入社後、医薬品の非臨床安全性研究・薬理研究の試験責任者、トランスレーショナルリサーチの事業責任者、非臨床事業のグローバル営業統括、在米子会社の社長兼CEOなどを経て、現任

アカデミア活動：
岐阜薬科大学バイオメディカルリサーチ講座 特任教授
鹿児島大学 非常勤講師
熊本大学大学院 次世代研究者挑戦的研究プログラム委員

学会・業界活動：
日本毒性学会 評議員、元理事
日本安全性試験受託研究機関協議会（安研協）代表理事・会長